

施策番号	施策名	予算額(百万円)	
213	交通安全対策の推進	7,335	
【2010年度の目標】 一人ひとりが高い交通安全意識を持ち交通ルールを守るとともに、交通危険個所が解消されるなど、安全に安心して歩いたり、移動することができる交通社会の実現が図られています。			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
交通事故死者数	197人 (1996年)	204人	180人以下 (165人以下)
高齢者の交通安全教育受講率	50.0%	61.0%	85.0% (100%)
通学路の歩道整備 (対象延長約930km)	330km [35%]	365km [39%]	390km [42%] (500km [54%])
交通管制エリアの面積率	85.3%	88.0%	96.9% (100%)

<これまでの取組>

全国交通死亡事故ワースト10からの脱却を図るため、交通安全運動を活発化させ、地域の特性に応じた運動を展開する中で、人口10万人以上の伊勢湾岸6都市に集中した交通安全対策を推進してきました。また学校における交通安全教育を実施する指導者の資質の向上を図るために、交通安全指導者研修会を実施し、研究指定校においては、免許取得前の高校生に対して、交通社会人としての育成に努めました。

交通安全施設の整備についてはコスト縮減を図りながら効果を重視した交通安全対策事業、特に交通事故発生箇所のうち緊急な対策が必要な事業に取り組みました。

また交通秩序の確立については、交通事故抑止対策の3本柱である「交通安全教育」、「交通安全施設整備」、「交通指導取締り」と、特に、道路交通法の改正に伴う「チャイルドシート着用の普及」についての広報啓発活動を積極的に取り組むことにより、伊勢湾岸6都市の死者数を減少させることができました。

<平成13年度の取組>

平成13年度においては、交通死亡事故の発生状況に対応した交通安全対策を実施するため、交通事故死者数の約半数を占める6都市を対象に「ワースト10脱却モデル地区事業」を実施するとともに、高齢者の事故が多発していることから、高齢者に焦点を当て事故防止対策等を地域でアドバイスできる指導者を養成するとともに、交通安全指導者研修会や交通安全指定校等の実践を通じ、自他の生命の尊重という基本理念に立った交通安全教育を実施します。

交通安全施設についても、事業効果を重視した計画的な整備、維持管理を図り、安全快適な交通環境づくりを推進します。

交通秩序の確立については「ワースト10脱却モデル地区事業」を中心に、交通安全教育指針に基づく実践型の交通安全教育を推進するほか、交通環境の変化に対応した交通の安全と円滑化及び交通事故抑止効果の高い交通規制、飲酒運転等交通死亡事故に直結する悪質・危険な違反の取締りを強力に推進します。

<主な事業>

1 ワースト10脱却モデル地区事業

(6,144(6,144)千円)
 【(201)交通安全運動の展開事業】〔生活部〕
 (10,677(10,677)千円)
 〔警察本部〕

人口10万人以上のモデル6都市が中心となって、多発する交通事故を防止するため、地域の実態にあった交通安全諸対策を集中的に推進し、全国交通死亡事故ワースト10からの脱却を図ります。

- 2 学校安全対策事業 (4,848(4,848)千円)
 【(202)学校における防災対策推進事業】〔教育委員会〕
 交通安全指導者研修会を通じ、児童生徒に対して交通安全学習を実施します。
 また、交通安全指定校を指定し、交通安全意識の定着を図ります。
- 3 (新)セーフティアドバイザー養成協働事業 (10,270(10,270)千円)
 【(301)交通安全教育・学習の推進事業】〔生活部〕
 高齢者等の交通死亡事故を抑止することを目的に、居住地をベースとして活動できる交通安全に関するアドバイザーを実践的・体験型研修により 양성するとともに、養成したアドバイザーの地域に根ざした実践活動を実施し地域教育力の向上を促進します。
- 4 道路交通安全対策事業 (3,368,000(1,296,000)千円)
 【(401)安全・快適な交通環境づくり事業】〔県土整備部〕
 交通事故防止のため、歩道設置、交差点改良、防護柵、道路標識等を設置し、交通安全を図ります。
- 5 交通安全施設整備事業 (1,362,971(820,471)千円)
 〔警察本部〕
 道路交通の安全確保、交通円滑化対策、人にやさしい生活環境の確保などの対策を推進するため、交通安全施設の整備・充実を図ります。
- 6 運転免許証分離型撮影装置導入事業 (6,989(6,989)千円)
 〔警察本部〕
 平成14年1月からの運用を目的に、各警察署に運転免許証分離型撮影装置を設置し、警察署受付での運転免許証更新申請書への写真貼付を省略することとし、県民の申請負担軽減を図ります。

<主な見直し項目>

「交通安全県民大会開催事業費」は、四季の交通安全運動として総合的に事業を推進するため、「交通安全運動推進事業」と統合。